

千葉県社保協通信

2014年度 No.3 2014年 8月 23日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センタービル 3F

TEL: 043-225-6790 FAX: 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

“社会保障切り捨てる防波堤となつてほしい” 自治体要請キャラバン 住民のいのちを守る自治体の役割発揮もとめ懇談

今年で23回を重ねる「社会保障の充実を求める自治体要請キャラバン」は、19日から各自治体との懇談がスタートしました。各地域で開かれた事前学習会には、昨年を上回る参加があり、消費税増税、医療・介護制度の改悪、年金削減などに対する不安と怒り、社保協活動に対する期待が広がっています。



↑ 22日、白井市連絡会が行った要請行動には、住民16人が参加し、19人の市各担当課職員と懇談した。

千葉県への要請と懇談

9月2日(火)

県議会棟 第1・2会議室

打ち合わせ 午後1時より

懇談 2時開始 - 5時終了

アベ NO THANK YOU!

安倍政権の集団的自衛権容認、原発推進、消費税増税、医療・介護大改悪許さないと「アベノーサンキューの会」が22日都内でシンポジウムを開催。医療関係者、学生、弁護士など150人が集い、銀座をパレード。“一人ひとりが声をあげよう”とアピールしました。“主人公は私たち” 安倍の暴走は許せない”と呼びかけ人のひとり伊藤真美医師の地元南房総はじめ、県内から保険医協会、年金者組合、地域社保協などから参加しました。

次回行動は10月13日(祝)予定です。

社保協の意見検討したい 流山

流山市社保協の懇談では、社保協側が「地域包括ケア」は医療・介護の新たな“公費抑制システム”になりかねないと指摘。高齢者、住民の実態に沿った仕組みづくりを求めた意見を市担当課が検討することに。

-東葛病院居宅介護事業所長発言別添-

“地域社保協つくりたい” 安房地域

鋸南・南房総・館山・鴨川の事前学習会では、参加者から「県社保協の日常活動と体制について知りたい」「安心して住み続けられるために地域に社保協作りたい」などと積極的な発言が目立ちました。

印西市で社保協準備会立ち上げ

7月23日、年金者組合西いんば支部印西分会、新婦人印西支部、コスモス健康友の会3者で印西市社保協準備会を立ち上げ。

14項目の独自要請書も提出。17日には事前学習会で意思統一。27日に市と懇談。

